

授業科目	観光経済特講 Tourism Economy			担当教員	城前 奈美		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>経済学の視点から、観光現象にアプローチする。</p> <p>この講義では、観光者や観光関連企業、行政などさまざまな行動の経済的メカニズムを理解するだけでなく、経済学の理論を応用して、観光現象を研究する手法について学ぶ。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲 ・態度	提出期限を守る。予習する。授業内で積極的に発言する。			授業での報告や発言 宿題・レポート	10%		
思考・判断	観光の経済学的分析の手法について、その意義と限界を考えることができる。			授業での報告や発言 宿題・レポート	30%		
技能・表現	観光の経済学的分析の手法を利用できる。			授業での報告や発言 宿題・レポート	30%		
知識・理解	観光の経済学的分析の手法を理解できる。			授業での報告や発言 宿題・レポート	30%		
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<p>次回の授業で使用する文献の箇所を指定するので、それを予習し要約することを宿題とする。予習していなかったり、内容を説明できなかつたりした場合は、減点となる。また、本授業の最後に、課題レポートを提出する。提出期限を守り、観光の経済学的分析について理解し、その意義と限界が述べられているかが評価基準となる。</p>							
授業の概要							
<p>本講義では、次の①から⑤に分類して、授業を行う。①ミクロ経済学を応用した観光市場分析の手法を学ぶ。②マクロ経済学の分野から、観光の経済効果を測定する手法を学ぶ。③国際経済学やサービス貿易論の見地から、国際観光を捉える手法を学ぶ。④環境経済学や経済地理学、文化経済学の視点を、観光現象の分析に取り入れた手法を学ぶ。⑤経済学の視点から、観光政策を読み解く。これらの授業を通して、理論的フレームワークとはどのようなものかを学んでいく。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：中崎茂『観光の経済学入門—観光・環境・交通と経済の関わり—』古今書院</p> <p>参考書：M. T. シンクア／M. スターラー『観光の経済学』学文社</p> <p>ジェームス・マック『観光の経済学入門』日本評論社</p> <p>長崎国際大学人間社会学部国際観光学科編『観光の地平』学文社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>経済学の知識があるのが望ましく、これまで経済学について学んだことがない場合には初歩的な経済理論書を読むことを勧める。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	観光と経済の基礎概念について学ぶ。	教科書 p. 1-20 をあらかじめ読む。
2	観光市場分析 (1)	観光者の需要特性について、所得弾力性と価格弾力性から学ぶ。	教科書 p. 21-30 を予習し、要約する。
3	観光市場分析 (2)	需要関数を用いた観光需要予測の手法を学ぶ。	教科書 p. 31-40 を予習し、要約する。
4	観光市場分析 (3)	観光事業の投資が、採算性を有し利益を得られるものかを分析するフィージビリティ・スタディ、損益分岐点分析について学ぶ。	教科書 p. 153-164 を予習し、要約する。
5	観光市場分析 (4)	経済の自由化や規制緩和がなぜ行われているのか、その結果、何をもたらすのかについて考える。	教科書 p. 70-90 を予習し、要約する。
6	観光の経済効果 (1)	各種経済統計から、観光の指標を読み取る。	教科書 p. 91-107 を予習し、要約する。
7	観光の経済効果 (2)	観光の乗数効果について学ぶ。	教科書 p. 123-139 を予習し、要約する。
8	観光の経済効果 (3)	観光の経済波及効果について学ぶために、産業連関表、および、逆行列係数表について学ぶ。	教科書 p. 140-152 を予習し、要約する。
9	観光の経済効果 (4)	観光の経済波及効果を算出する手法について学ぶ。	教員作成のプリントを予習し、要約する。
10	国際経済と観光 (1)	国際貿易 (サービス貿易) の1つである国際観光が、どのくらいの規模であるのか、国際経済指標を用いて読み取り、長期にわたる傾向を読み取る。	教科書 p. 166-189 を予習し、要約する。
11	国際経済と観光 (2)	経済の発展過程で、国際観光 (インバウンドとアウトバウンド) はどのように変化していくのか、考える。	教科書 p. 108-122 を予習し、要約する。
12	応用経済学	環境経済学や経済地理学、文化経済学などから展開されている研究と観光との接点を学ぶ。	教科書 p. 190-215 を予習し、要約する。
13	観光政策分析 (1)	経済学の潮流と、観光政策の変遷について考える。	配布する観光研究レファレンスのプリントを予習し、要約する。
14	観光政策分析 (2)	国際経済学や開発経済学の潮流と、観光政策の変遷について考える。	配布する観光研究レファレンスのプリントを予習し、要約する。
15	全体のまとめ	経済学の手法を使用した研究手法やその結果を整理する。	課題レポートを作成する。